

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月19日

福井市長 殿

提出者

住所 福井県福井市勝見3丁目17-5

氏名 轟建設株式会社  
代表取締役 天谷 豪志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

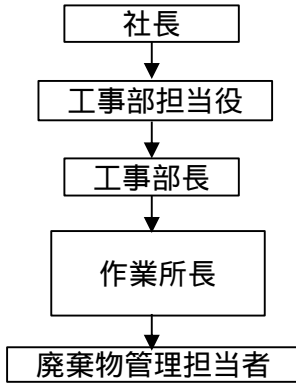
電話番号 0776-23-3355

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	轟建設株式会社
事業場の所在地	福井県福井市勝見3丁目17-5
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	D06(総合工事業)
事業の規模	280,468千円(元請完成工事高(前年度実績))
従業員数	41人
産業廃棄物の一連の処理の工程	<input type="checkbox"/> がれき類：再生処理業者へ委託 <input type="checkbox"/> 廃プラスチック類：再生処理又は焼却処理業者へ委託 <input type="checkbox"/> 木くず：再生処理又は焼却処理業者へ委託 <input type="checkbox"/> 混合廃棄物：選別処理業者へ委託 再生又は焼却処分 <input type="checkbox"/> 汚泥：

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



毎月開催の工事部会議（現場毎の作業所長出席）にて、現場で発生する産廃処理の課題や減量化について、

・・・環境安全衛生の管理に関する社内管理責任者

・・・産廃の適正処理を含めた現場毎の環境管理責（現場での分別管理及びマニフェスト発行）

・・・データ集計処理、社外報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙 のとおり		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙 のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 金属くず、木くず等の分別を行い、他の廃棄物混入を防いでいる。
計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別を行う。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度(            年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) —	
計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) —	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度(            年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) —		
計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状	【前年度(                      年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状	【前年度(    4    年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙 のとおり		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
別紙 のとおり			
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【 前年度( 令和 4 年度 )実績 】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	廃プラスチック
	排出量(t)	1471.180	454.830	12.990
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	建設汚泥
	排出量(t)	93.730	8.510	2.910
(これまで実施した取組) 過剰な産業廃棄物の排出を防止するために、処理施設と排出工程を協議し、計画的に排出した。				
計画	【 目 標 】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	廃プラスチック
	排出量(t)	100.000	250.000	0.000
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	建設汚泥
	排出量(t)	2.000	3.000	3.000
(今後実施する予定の取組) 分別解体を順守して、混載での排出は行わない。 再生できる廃棄物は再利用を図り、無駄な排出を抑制する。				

別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【 前年度( 令和 4 年度 )実績 】				
現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	廃プラスチック
	全処理委託量(t)	1,471.180	454.830	12.990
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	1,471.180	454.830	12.990
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	建設汚泥
	全処理委託量(t)	93.730	8.510	2.910
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	93.730	8.510	2.910
認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	
(これまでに実施した取組) 過剰な産業廃棄物の排出を防止するために、処理施設と排出工程を協議し、計画的に排出した。				
【 目 標 】				
計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	廃プラスチック
	全処理委託量(t)	100.000	250.000	0.000
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	100.000	250.000	0.000
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	建設汚泥
	全処理委託量(t)	2.000	3.000	3.000
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	2.000	3.000	3.000
認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	
(今後実施する予定の取組) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し、計画的な廃棄物の排出を行い、事業を継続する。				